



外構はあとで考えればいい？ 新築時に考えたい「外構計画」

新築のお客様から、「庭はあとで考えればいいかな」「外構は予算をかけず、とりあえず土間コンクリートだけ打っておこう」というお話を伺うことがあります。もちろん、家族構成や工事をする時期によって理想の外構プランが変わっていくのは自然なことです。ただ、将来的にカーポートやガレージなどを設置する予定がある場合には、建築時から少し先のことまで考えておくことも大切です。

将来的にカーポートを設置するときに困ることも

例えば、新築時には駐車場を土間コンクリートだけにして、後からカーポートを設置する場合。カーポートの柱を建てるために、すでに施工した土間を一部カットする必要がある出てくる場合があります。給排水配管が柱とぶつかる場合は、つなぎ直す工事が発生すること。せっかくお金をかけて行った工事を部分的にやり替えることになれば、「できれば最初から考えておけばよかった...」となってしまうこともあります。

今すぐ工事をしなくても、地中に埋まっている配管工事が図面通りに施工されているか、将来の使い方を考えて配管位置などを確認しておくことが大切だと、私たちは現場で感じています。

また、大きさやお住まいの条件によっては、カーポートやガレージに工事前の建築確認申請が必要となり、選べる素材も変わる場合があります。

駐車場の「出入り」も計画のポイント



- ☒ 出入り口付近に通いづらい幅の縁石がないか？
- ☒ 置きたい車の台数+αの余白を確保して切り返ししやすいか？
- ☒ 歩行者の有無が分かりづらい死角があるか？
- ☒ 私有地の境界に極端な段差はないか？

※縁石については工事前に申請・許可を取ることで切下げ工事によって対応できる場合もありますが、事前に計画しておきたい部分です。

ガレージ導入時に把握したいコト



メリット

- ・盗難や悪天候による被害から車を守る手段として人気が高い。
- ・車が守られている安心感。
- ・作業スペースや収納スペースの確保ができ、趣味の充実に。

デメリット

- ・運転が苦手な方は柱や壁の圧迫感を感じることも。
- ・収納物の置き方によっては、地震などで倒れて車を傷つける可能性あり。
- ・ガレージを設置することで、庭が圧迫されて見えることも。

※大雨による浸水被害もあるため、土地の状況や浸水リスクに応じて、床の高さを検討することも大切です。



KITAI建築設計事務所

090-8318-4641 代表 関 勇太

茨城県笠間市池野辺2012-17



Instagramも
フォローおねがいします

